

金沢大学での「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」 を活用した授業の開講について

平成28年6月10日

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府 地方創生推進室

内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)及び内閣府(地方創生推進室)が金沢大学と連携して提供する、「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を活用した授業が、6月13日(月)より金沢大学にて開講します。RESASの基礎的な知識や操作方法の習得を目指す基礎編と、RESASにより地域を分析し、政策提言へ繋げる発展編を提供し、地域の未来を担う学生が、RESASを活用することで、客観的なデータに基づいて地域の現状を把握し、そこから浮かび上がる諸課題を解決するためのアイデアを提案できるようになることを目指します。

1. 趣旨

地域経済分析システム(RESAS:リーサス)は、地方自治体による様々な取り組みを情報面・データ面から支援するために内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)が提供を開始したものです。一部のデータを除いて一般公開しているため、一般の方々、とりわけ、地域の未来を担う学生に利用していただき、客観的なデータに基づいて地域の現状を把握し、そこから浮かび上がる諸課題を解決するためのアイデアを提案できるようになっていただきたいと思います。しかし、そもそもRESASとは何か、RESASをどのように活用すればよいかということについて学んでいただく機会を体系立てて提供できていないのが現状です。

そこで、内閣官房及び内閣府では、金沢大学と連携し、実際にRESASを操作しながら、RESASによって把握できることや分析できることを学ぶ講義形式の授業や、RESASによりどのように地域を分析し、地域を良くするアイデアを考えることができるかを学ぶグループワーク形式の授業等を、順次提供していきます。実施結果を踏まえ、他の教育機関においても共通して利用可能な教材やカリキュラムを体系化し、本年秋よりウェブ上で提供していきます。これを機に、教育現場におけるRESASの普及を加速させていきます。

2. 金沢大学 第1回授業概要 ※授業の内容や開講数等は別紙参照

- (1)科目名 : 「統計学から未来を見る」(基礎編)
- (2)開講日時 : 平成28年6月13日(月) 14:45~16:15
- (3)場所 : 金沢大学総合教育棟4階 C7講義室(〒920-1192 石川県金沢市角間町)
- (4)担当教員 : 国際基幹教育院 松浦 義昭 講師
- (5)対象 : 1年生(選択必修科目)
- (6)受講者数 : 50名

以上

【お問い合わせ先】

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局
内閣府地方創生推進室
担当:堀口、浜村 電話:03-3581-4541

金沢大学での RESAS を活用した授業の詳細について

基礎編「統計学から未来を見る—地方創生:RESAS のビッグデータで地域の課題を考える」**1. 概要**

RESAS に関する基礎的な知識や操作方法を習得する。

2. 到達レベル

見たいマップやグラフが、RESAS のどこに搭載されており、それからどのような情報を読み取ることができるか理解できるレベル。

3. 講座計画等

(1)開講学期：Q2(6月～8月)、Q3(10月～11月)、Q4(12月～2月)

(2)開講クラス数：[Q2]6クラス [Q3]6クラス [Q4]4クラス

(3)受講定員：50名/クラス

(4)対象学年：1年生(選択必修科目)

(5)各回のテーマ(全8回・予定)：

第1回 統計データの分析から見える現在と未来の課題

第2回 人口マップによる分析

第3回 観光マップによる分析

第4回 農林水産業マップによる分析

第5回 産業マップによる分析

第6回 消費マップ・自治体比較マップによる分析

第7回 地域経済循環マップによる分析

第8回 まとめ

発展編「データで考える日本の未来—データサイエンス」**1. 概要**

基礎編で習得した内容を踏まえ、グループで特定の自治体を分析する。

2. 到達レベル

RESAS 以外の統計データ等も参照しつつ、自治体を様々な観点から分析し、政策アイデアを提案できるレベル。

3. 講座計画等

(1)開講学期：Q3(10月～11月)

(2)開講クラス数：[Q3]1クラス

(3)受講定員：50名/クラス

(4)対象学年：1年生(選択科目)

(5)各回のテーマ(全8回・予定)：

第1回 オリエンテーション

第2回 RESAS を使った地域分析と政策アイデアの提案例の紹介①

第3回 RESAS を使った地域分析と政策アイデアの提案例の紹介②

第4回 発表1/発表2

第5回 発表3/発表4

第6回 発表5/発表6

第7回 発表7/発表8

第8回 発表9/発表10